



今月の表紙

パイナップル栽培農家
岡崎 竜雄 さん

2000

平成12年

6月30日

No.345

人口と世帯数

総人口 44,491(+54)

男 22,323(+21)

女 22,168(+33)

世帯数 17,257(+64)

(平成12年5月末目現在)



国勢調査は子どもたちの明るい未来をつくります



石垣市では国勢調査を実施するにあたり、六月一日、大濱永造助役を本部長とする実施本部を庁舎内に設置しました。

十七回目の国勢調査

日本で最初に国勢調査が行われたのは、今から八十年前の一九二〇年（大正九年）のことでした。以来、おおむね五年ごとに行われ、今回で十七回目を迎えます。国勢調査は単に人口などを調べるためだけ行われるものではありません。調査の結果は、これからのまちづくりなどのための貴重な基礎資料になります。

国勢調査は
将来の生活を支えます
石垣市実施本部を設置

たとえば、いま日本は少子化や高齢化が急ピッチで進んでいます。これからの少子・高齢社会に対応するためには、住宅、福祉、交通、雇用面などさまざまな分野での対策が必要になります。国勢調査の結果は、こうした私たちの将来の生活を支えるためのデータになります。

調査員が 自宅へうかがいます

調査を実施する際、九月の下旬に調査員が皆さんのお宅におうかがいし、世帯ごとに調査票をお配りします。

調査票が届いたら、「調査票の記入のしかた」をよく読んで、ふだん住んでいる人をもれなく記入します。

ふだん住んでいる人とは、十日一日現在、日本に、①すでに三カ月以上住んでいる人、②十月一日の前後を通じて三カ月以上住むことになっている人をいいます。

調査する内容は、世帯全員の男女の別、出生の年月、就業状態、通勤・通学地、住居の種類など、全部で二十二項



目です。

集計は機械にかけて行いますので、調査票を汚さないように注意しましょう。記入された内容は統計法によって厳重に守られます。他にもれたり、統計を作成する以外の目的に使われることは絶対ありません。

調査票が提出されなかったり、正しい申告がなされなかったりすると、誤った統計になってしまいます。そのようなことを防止するため、「統計法」によって申告義務について規定しています。

調査票の配付

調査票の配付、回収を行う

国勢調査員は、一人当たり約五十世帯を受け持ちます。それぞれの家庭のライフスタイルに合わせ、夜間に訪問させて頂くこともあります。

プライバシーを守ります

調査をする人が、調査の結果を他人にもらしたり、統計をつくる目的以外に調査票を使ったりすることは法律で固く禁じられています。

調査票は厳重に保管され、調査票に書かれたことがもれることはありません。

末永い交流を誓う カウアイ市へ親善交流訪問団



との懇親会に出席しました。カウアイ市役所で行われた「姉妹都市締結調印式」は五月十九日に行われ、いしがき児童合唱団による石垣市歌演奏、訪問団の紹介や交流の経緯の説明のあと、マリアン・クサカ市長、大濱市長、小底議長らが締結文に署名しました。

石垣市と米国ハワイ州・カウアイ市は、昨年十月に石垣市において「姉妹都市締結調印式」を開催しました。

カウアイ市を訪問

このほど、沖縄県人ハワイ移住百周年を記念して、親善交流訪問団（団長・大濱長照市長）が五月十七日から五日間の日程で、カウアイ島及びオアフ島を訪れ、カウアイ市との間で締結された姉妹都市締結調印式、沖縄移住百周年舞踊フェスティバル、ハワイ

在住の八重山郷友会員の皆様

訪問団は、沖縄移住百周年記念舞踊フェスティバルやホノルル市内で開催された八重山郷友会の会員との懇談会に参加しました。その中で石垣市民踊愛好会、いしがき児童合唱団が芸能や歌声を披露し、参加者の親睦を深めました。調印後に両市長、市議会代表があいさつ。

その後、会場近くで記念植樹が行われミロの若木を植え、末永い友好の絆を確認しました。

ごみの分け方を考える 容器リサイクル法がスタート

日常生活から出されるごみは、大きく分けて二つに分類されます。

一つは「一般廃棄物」これは日常生活の中で家庭内から出されるごみ。二つ目は「産業廃棄物」で、産業活動から出てくる営利目的で出されたごみです。

一般廃棄物は、現在石垣市で全て処理ができるよう整備されましたが、産業廃棄物に関しては、完全に処理ができないのが現状です。

同じごみでも出す場所によって種類が違うものになります。

たとえば、電気製品は、家庭の引越しや家庭で使う商品



の購入によって家庭内から出されると「一般廃棄物」扱いです。電気店や営利目的（金銭が関わってくる商品購入等）になると「産業廃棄物」となる場合があります。

同じ品物でも、購入した目的や用途によって「ごみ」として扱うときは違った扱われ方をするので、事業所でも家庭内と同じように分別をして下さい。

分別をしないで車等に積んでクリーンセンターや最終処分場に運ぶと拒否される原因となりますので注意して下さい。

平成12年4月1日から「容器包装リサイクル法」が完全施行されました。私たちの日

常生活の中から多量に排出される容器や古紙類を全てリサイクルする事が国民の責務となっておりますので、職員の皆様も下記の要領で分別していただけますようお願いいたします。

【燃やすゴミ】
食べ残し、ぼろ切れ等

【燃やさないゴミ】

缶詰の缶、陶器類、革製品等
【そでごみ】
タンス、畳、幹の太さが直径15cm以上、長さが70cm以上

【有害ごみ】

蛍光灯、電池、体温計等

【資源ごみ】

ペットボトル、ビン、アルミ缶、スチール缶は必ず洗って入れる。紙類は必ずひもで縛って片手で持てるようにする。

平成15年からは弁当箱、トレイ、発砲スチロール、洗剤のボトル等は必ず洗って一緒にいれて出す。

資源ゴミとして扱われるごみは決して腐食したり悪臭を発生したりはしません。一時的に家庭内で保管をし、決められた曜日の午前八時三十分までにだして頂く。

ハブクラゲの被害を防ぎ 応急処置の方法を心得よう



で、初夏から海岸近くの浅瀬に多く出現する。

刺されたときに触手を無理に引きはがすと、毒を含んだ刺胞から毒針が発射され重症化する。酢をかければ、毒針が出なくなり刺されずに引きはがせるという。

ハブクラゲに注意

ハブクラゲによる刺症事故は私たちの注意によって未然に防止することが出来ます。海に出かけるときは次のことを心掛けましょう。

海水浴やマリンスプレーを楽しむ時にハブクラゲに注意し、万が一刺された場合は応急処置の対策も考えておく必要があります。

猛毒のハブクラゲは、長い触手に刺されると、激痛とともに大きなミミズばれになり、ひどいときには死ぬこともあります。ハブクラゲは一辺が十センチの立方体の傘と、長さ百五十センチの触手約三十本を持つ大型のクラゲ

で、初夏から海岸近くの浅瀬に多く出現する。刺されたときに触手を無理に引きはがすと、毒を含んだ刺胞から毒針が発射され重症化する。酢をかければ、毒針が出なくなり刺されずに引きはがせるという。

①ハブクラゲ侵入防止網の内側で遊泳する。

②肌の露出を避ける。

③酢（食酢）を持参し、刺されたときに傷口に塗る。

ハブクラゲに刺されたら

①海から上がる。

②刺された部分はこすらずに酢（食酢）を傷口に塗る。

③ハブクラゲの触手を取り除き水や冷水で冷やす。

幼児の場合や、刺された範囲が広い場合は、呼吸停止を起すことがありますので、早めに病院へ運び医師の診察を受けましょう。呼吸が止

まった場合は人工呼吸を行いながら病院へ運びましょう。

また、海辺で白生している「モンパノキ」の葉をこす

り、汁を患部に塗ると効果があるといわれています。

県教育委員連合会が研修会開催

崎山直氏が記念講演

沖縄県市町村教育委員会連合会の第四十五回研修会と定期総会（同連合会主催）が五月十八日と十九日の二日間、石垣市で開催され、各市町村から教育委員や担当職員が出席しました。

この研修会と総会は県内の市町村教育委員会相互の連携を強化し、教育行政の充実と発展に役立てることを目的に開催されたものです。

研修会では、石垣市文化協会会長の崎山直氏が「オヤケ

アカハチの虚像と実像をめぐって」と題した記念講演を行いました。

総会では、又吉達雄会長、大瀨永造助役があいさつ、県教育委員会の翁長良盛教育長が祝辞を述べました。

その他、本年度の役員案、事業計画案等が承認。二〇〇一年度文教施策と予算措置に関する要請案、同連合会の会則の一部改正案が承認された。二日目は南大島村教育委員長の金城松春氏、座間味村教育委員長の宮平安弘氏が、各地区の事例発表を行いました。

ハンセン病を正しく理解しよう

財団法人沖縄県ハンセン病予防協会ではハンセン病に対する正しい知識の普及を図り、特に次の事項を周知徹底させ、差別、偏見の解消に努めるため、六月二十五日から七月一日までの間「ハンセン病を正しく理

解する週間」として活動しています。

ハンセン病は遺伝する病気でなく「らい菌」によって引き起こされる慢性の細菌感染症の一種であるが、らい菌の毒力は極めて弱く、ほとんどの人に対し

て病原性を持たないため、人の体内にらい菌が侵入し、感染が成立しても発病することは稀である。ハンセン病療養所退所者が社会に温かく迎え、安心して生活し、仕事する事ができるよう社会復帰の支援の充実が図られるよう、広く国民の理解を深める。

生産に有利な石垣島産のパイナップル果実

郵パックで全国区の人気



パイナップルの収穫作業は暑さと重労働との戦い

バンナー岳と於茂登岳のすそ野に広がる丘陵地帯には名蔵や嵩田、遠くは三和、川原といった農村地帯が続き、石垣島の豊かさが実感できる風景が続く。

サトウキビ畑、牧草地、そしてパイナップル畑が並び、それらを包むように森林地帯、於茂登連山の山岳地帯がそびえ立つ。岡崎竜雄さん（嵩田地区）はその丘陵地帯にある、おおよそ三町歩の畑にパイナップルを栽培している。

パイナップルは亜熱帯気候の地域で、酸性土壌に生育する果実であり、国内で生産できる地域は石垣島のほか沖縄本島北部と西表島などわずかな地域に限られている。パイナップルは独特の甘酸っぱい味と香りがあり、石垣島の特産品として大切に育てられ、夏の味覚として郵パックなどで全国へ発送されています。昭和三十年代から、石垣島の産業革命とまでいわれた「パイナップル」がわき起こりました。

パイナップル栽培は、サトウキビとともに基幹産業として位置づけられ、生産規模の拡大や加工場経営は石垣市の経済発展、雇用や流通面においても大きく貢献してまいりました。パイナップル産業はその後、農産物の自由化や果実の販売価格の不調によって何度も存続の危機に立たされてきました。

小さい頃から父親の農作業の手伝いをしてきた岡崎竜雄さんは、中学校を卒業した後からずっと四十年余りもパイナップル栽培を生業としてきました。岡崎さんは、ほ場の整地から植付け、肥培管理、収穫までの作業を緻密に、計画的に行っています。そのため、四月中旬から八月上旬にかけての四カ月ほどが収穫時期として確保されています。

パイナップル栽培は、サトウキビや稲作に比べて機械化が難しい作物であるため、体力を消

耗する仕事です。それに加え、農家と加工場の間で取り決められる果実の取引価格の不調や加工場の撤退などにより他の作物へ方向転換する農家が後をたちませんでした。それについて岡崎さんは、「長らくパイナップルを作り、研究してきた栽培技術や経験をもっと生かそうと思った。新しいもの（作物）に取り組んでもうまくやってみようか不安もあつた」と話しました。

石垣島のパイナップル農家は十年ほど前から郵パックによる生果販売を実施しています。岡崎さんの元にも、本土や遠くは北海道からも味や食感について様々な声が寄せられています。このような声に接すると作り続けて良かったというしさがこみ上げてくると話しています。

パイナップル栽培の有利性に今一度目を向けて、石垣島産の果実としてもっと大きい存在になつてもらいたいものです。

西海区水産研究所を一般公開

「西海区水産研究所石垣支所」は、亜熱帯域の水産や海洋研究のために平成6年6月に設置されました。

同研究所では、亜熱帯域の国立水産研究機関として「地域の研究ニーズに的確に応える活力ある研究所」をキャッチフレーズに、水産生物や海洋生物の研究センターとして活動しております。

わが国の水産業発展のほか、科学技術における国際貢献にも大きく寄与し、南方の研究拠点として、海を利用するすべての人々に開かれた研究所として位置づけられています。

日頃の活動の成果を紹介するため、下記のとおり一般公開します。多くの市民の皆様が研究所を訪れて下さるようお知らせいたします。

日時：平成12年7月22日（土曜日）

午前10時～午後4時

場所：西海区水産研究所石垣支所

毎年一回の健康診断で 健康チェックをしましょう

保健婦
だより

健康のために、口頃から食事や運動などに気をつかって、いる方も多いと思いますが、「元氣だから大丈夫」とあなどってはいけません。

少なくとも、年一回は健康診断を受けて、からだからの警告信号に耳を傾ける必要があります。

石垣市の死亡状況を見ると、働きざかりといわれている三十代から五十代の死亡原因は第一位悪性新生物、第二位脳血管疾患、第三位自殺、第四位心臓疾患、不慮の事故となっております。

特に、脳血管・心臓疾患は、日頃の生活習慣との関係が大きいといわれています。日頃から自分のからだへの問い掛けも大切ですが、健康診断を受けることは、自覚症状の現れにくい生活習慣病の早期発見につながるだけでなく、これまでの生活習慣を見直さきつかけになります。



健診を受けるポイント

- ①自分が受ける健康診断のメニューを事前に調べるようにしましょう。
- ②一年に一回は健康診断を受け、結果を記録するとともに前回の数値と比較しましょう。

石垣市の住民健康診断が七月から始まります。各地区の日程表を確認して都合の良い日を選んで是非受診して下さい。

健康増進課保健婦

崎山佐和子

予防接種で 病気を克服する体をつくる

お母さんから赤ちゃんに受け渡された病気にたいする抵抗力（免疫）は、百日せきやみずぼうそうでは生後三ヶ月までに、麻疹やおたふくかぜでは生後八ヶ月頃までに、自然に失われていきます。この時期を過ぎると、赤ちゃん自身が免疫をつくって病気を予防する必要があります。これに役立つのが予防接種です。予防接種で免疫をつけ、伝染病にかからないように予防し、抵抗力をつけて病気の流行を抑えています。

2 予防接種（ワクチン）とは

伝染病の原因となるウイルス、細菌または菌の発生する毒素の力を弱めて予防接種液（ワクチン）をつくり、それを体に接種し、その病気に対する抵抗力（免疫）をつくることを予防接種といいます。

3 予防接種の種類と特徴

予防接種で使うワクチンには、生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイドの三種類があります。生ワクチンは、生きた病原体の毒性を弱めたもので、その病気にかかったのに近い免疫（抗体）をつくろうとするものです。

接種後から体内で病原体の増殖がはじまりますから、それぞれのもっている性質に応じて、発熱などの軽い症状がでることがあります。十分な抗体が獲得されるのに約一カ月が必要です。

定期接種のワクチンでは、ポリオ、麻疹、風疹、BCGがこれにあたります。一定の間隔で数回接種し、初回免疫をつけたあと、約一年後に追加接種をして基礎免疫が出来上がります。

でも、放置するとまた少しずつ抗体が減ってしまいますので、長期に免疫を保つ場合には、それぞれの性質に合わせて一定の間隔で追加接種が必要です。

定期接種のワクチンでは、百日せき、日本脳炎がこれに当たります。

トキソイドとは、細菌が産生する毒素を取り出して、その毒性をなくしたものです。基本的には不活性化ワクチンと同様ですから、何回かの接種で免疫をつけます。

定期接種のワクチンでは、ジフテリア、破傷風がこれに当たります。

石垣市では一年間に行われる予防接種について、広報いしがき四月号に掲載してあります。（日本広報協会・広報通信）

広報いしがき「四月号」に紹介した「麻疹の定期予防接種」記事の中で適切でない部分がありましたので以下のとおり訂正いたします。

麻疹（はしか）は、麻疹ウイルスの感染によって起こります。うつってから発病するまでは、十日前後の潜伏期間があり、最初の三〜四日間は普通のカゼと区別がつきません。はしかの早期診断に役立つ

重要な所見として「コプリック斑」があります。「コプリック斑」とは、熱がでて二〜三日たつと、ほお粘膜内側の白歯の部分に回りが赤く充血した白い粟粒大の斑点が数個から数十個あらわれます。

石垣市役所でBSデジタル実験放送

NHKと沖縄地上デジタル放送実験協議会（設備支援・通信・放送機構）では、「九州・沖縄サミット、デジタル放送実験」として、石垣市役所においてBSと地上の両方でデジタル放送の実験および受信公開を行います。放送内容は、サミット関連のニュースと沖縄の美しい自然・風土・県民の営みを「ワイドで高画質なハイビジョン」で放送します。

場所：石垣市役所一階ロビー

日時：7月17日（月）～7月23日（日）

午前9時～午後5時30分

弁理士の日無料相談会

弁理士会では7月1日に全国各地で無料特許相談会を開催します。特許・実用新案・意匠・商標の出願に関する事柄のほか、訴訟、調査、外国での特許取得などに関する事柄について、弁理士が無料で相談に応じますお気軽にご相談下さい。

【問い合わせ】

弁理士会

東京都千代田区霞が関3-4-2 ☎(03)3519-2361

沖縄地区

沖縄県浦添市仲西1-2-2 ウイングビル2階発明ギャラリー

社会人に勉学の機会を

沖縄キリスト教短期大学では、国際化時代・生涯学習時代などの社会の変化に対応するため、社会人をはじめ多くの方々に勉学の機会を提供しています。その一つとして10月入学制度を設け、推薦入学試験を実施しております。推薦の種類は21歳以上の社会人特別推薦等です。

出願期間は7月14日から21日までの間。試験日は8月1日です。

【問い合わせ】

沖縄キリスト教短期大学

〒903-0207 沖縄県西原町字翁長777

☎(098)945-9782

自分の身は自分で守る

日本人が海外で巻き込まれる事件・事故は世界各地で多発しており、日本人の海外での安全対策が大きな課題となっております。

海外での安全対策の基本は、旅行者一人ひとりが「自分の身は自分で守る」との心構えをもつことです。

海外旅行を計画する際には、旅行先についての十分な情報収集や準備をすることが必要です。そして、旅行中も「国内旅行とは違う」という意識をもって行動し、自己の安全確保に努めて下さい。

【問い合わせ】

外務省領事移住部邦人保護課 ☎(03)3580-3311

外務省海外安全相談センター ☎(03)3581-3749

外務省ホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>



敬老祝金受給申請と変更の手続き

次の方は今年から「敬老祝金」を受給することができます。

- ①大正13年9月16日から大正14年9月15日までに出生された75歳の方。
- ②平成11年9月16日以前に1年以上石垣市に住んでいる方。
- ③76歳以上の方でこれまでに申請されていない方。
- ④平成11年9月16日までに転入して、その後1年以上居住しながら、これまで敬老祝金を受けていない方。

受給している方で住所、氏名、銀行口座番号が変更になった方も手続きが必要です。

【手続きの期間】平成12年7月3日～7月28日（金）

【手続きに必要なもの】

- ①印鑑（認印でもよい）
- ②住民票抄本1通（転入者のみ）
- ③預金通帳（郵便貯金通帳以外のもの）

【問い合わせ】民生部 介護長寿課 ☎2-7158

趣味のクラブで心と体を元気にしよう 初心者講座受講生を募集

石垣市老人福祉センターでは、高齢者の生きがいと健康づくりに役立てるため、18の趣味のクラブが運営され、60歳以上の男女が楽しく活動しています。

今回は初歩から学べるように初心者講座を6月～8月まで次のとおり開設いたします。定員は下記のとおりですが、定員になり次第、締め切らせていただきます。

講座名	定員	曜日	時間	講師
詩吟	10	月曜	10時～12時	石垣ハツ
大正琴歌謡	10	月曜	10時～12時	南都美子
舞踊	20	月曜	10時～12時	世持カツ子
書道	10	水曜	10時～12時	入高西清佐
健康体操民謡	20	金曜	10時～12時	福仲文
手芸	10	金曜	10時～12時	山盛よし子

【詩吟】漢詩などに節をつけ歌います

【大正琴歌謡】唱歌や懐かしい歌謡曲を演奏

【舞踊】八重山民謡を初歩から学ぶ

【書道】日本習字の漢字・かなを学ぶ

【健康体操民謡】民謡のリズムに合わせて踊ります

【手芸】手編み・造花・文化刺しゅうなど

【問い合わせ】

石垣市老人クラブ連合会事務局 ☎3-8126

石垣市老人福祉センター ☎3-0062

市民参加型サミットを実現しよう

クリーンアップ作戦を展開

沖縄で開催されるサミット首脳会合に向けて、全県規模の清掃奉仕作業となる「美ら島沖縄2000年サミット・クリーンアップ作戦」が7月9日(日)に県内各地で行われます。

同作戦は、サミット開催に向け地域の清掃活動を実施し、県内各地の素晴らしい自然景観などの魅力を向上させるとともに、市民参加型サミットを実現しサミット歓迎の機運を盛り上げるために行われます。

石垣市においては各自治公民館をはじめ各団体、企業が参加し石垣島一円の主要道路や観光地をはじめ、分担された各箇所道路沿いや草むらに散乱している空き缶や食品容器などのごみ拾いを行います。

日時：7月9日(日)午前10時～12時

場所：各団体の出発式会場

環境ボランティアにみんなの力を

福祉、医療、災害援助、国際交流。

今や多種多様な分野で多くの人々が活躍するボランティア。なかでも、私たちの生活に最も身近なボランティアの一つが環境保護の活動ではないでしょうか。

毎年六月は環境月間、そして来年2001年は「ボランティア国際年」。そこで、環境ボランティアの活動について考えてみました。

あなたが動けば環境も変わる

日常生活から生まれる、空き缶、空きビン、古紙、ペットボトル。これらを、ごみではなく資源として再利用するための分別・回収活動は、石垣市でも進められています。しかし、再生可能な資源を家庭で分別することだけがリサイクル活動ではありません。

地域や学校、会社において仲間と一緒にリサイクルや再利用に取り組む方法もあります。

また、「青空自由市」で古着、家具、家電製品など、いらなくなった生活用品をほかの人達と積極的に交換して活用し合うことも、立派なリサイクル活動です。

さらに、エコマーク商品など再生資源を使って作られた商品を選んで購入したり、環境や循環型社会に配慮する消費者団体の活動に参加したりすることもリサイクル活動の一環といえます。

みんなでリサイクル意識をもって商品と比較・選択する姿勢は、企業のリサイクル活動を促すことにもつながります。

全国的には自然環境を守るために直接的な行動を起こすボランティア活動もあります。例えば、汚れた川を魚やホタルがすめるきれいな川に戻そうとする人々、草花や野鳥の生息環境を守ろうとする人々。あるいは自然保護を目的とした募金活動をするグループなどが、それぞれ目的をもって行動しています。

最近では、一般の人を対象に自然や環境の問題についてのシンポジウムを開催したり、インターネットを利用して環境情報を提供したりとその取り組みは多様になっています。

また、海外での熱帯林保護活動や植林活動、希少野生動植物の保護など、世界の人々と手を取り合っている地球環境のボランティア活動も増えています。

自然の大切さを実感するため、手始めとして山林や河川でゴミ拾いをしたり身近な動植物の観察をしてはいかがでしょうか。



第2回
C.I.O.F.F.
ワールドフォークロリアーダ
2000年7月25日(火)～8月6日(日)

「集い」プログラム
7月25日(火)～31日(月)
東京

「交わり」プログラム
8月1日(火)～6日(日)
長野県長野市
新潟県柏崎市
石川県小松市
京都府園部町
島根県
福岡県北九州市
長崎県
沖縄県石垣市

世界の文化と出会う

ワールドフォーク・ロリアーダ 8月2日～4日

国際民族芸能組織委員会(C.I.O.F.F)の公式行事であるワールドフォークロリアーダが、7月25日から8月6日までの間、東京をはじめ全国9ヶ所で行われます。

国際民族芸能組織委員会(C.I.O.F.F)は、世界文化遺産の指定など、世界の有形文化財の保存運動を行っている「ユネスコ」の諮問機関であります。

石垣市では、「国際民族芸能祭・いしがき2000」として「ワールドフォークロリアーダ・交わりプログラム」を下記のとおり開催します。

また、横笛づくりと吹き方の指導も下記のとおり行われます。

市民と手と手を取り合う文化交流

日時：8月2日(水)～3日(木)

場所：市民会館(ピロティ) 屋外

内容：伝統工芸品・地元特産品等の展示即売会
踊り・歌のふれあい野外ステージ

民族文化・伝統芸能を認め合う交流

日時：8月2日(水)～3日(木)

場所：市民会館大ホール

内容：世界の民族文化を「見る」「知る」「喜び」
地元の芸能文化との共演・交わり

国際交流～出会い・交流・友情～

日時：8月4日(金)

場所：市民会館中ホール

内容：世界の人々との「出会い」で気軽に「交流」し多くの「友情」芽生える機会

横笛作りと吹き方の指導

日時：8月2日(水)～3日(木) 午後2時～6時

場所：市民会館中庭

内容：八重山横笛の会の皆様が、横笛作りと吹き方の指導を行います。(材料代として子供500円、一般1,000円必要です)

【問い合わせ】石垣市民会館内 ☎ 2-1515